

白杵市 施策評価シート  
(令和2年度)

評価担当者	課名	氏名	内線
	産業促進課	佐藤 一彦	2260

コード	IV-10-17	施策名	地場企業の育成・企業誘致
施策の方針	社会経済を潤す		
まちづくりの方針	魅力ある資源を市民が創り活かし、人が集まりにぎわうまち(産業・観光)		
5年後のめざす姿	雇用機会の確保や後継者などの人材育成を行い、醸造業、造船業など地域資源を活かした伝統的産業の振興が行われており、また、工場用地の確保及び環境整備による企業誘致の促進が図られています。地場企業と誘致企業がともに産業振興へ寄与することをめざします。		
施策の内容	地域経済活性化の為、白杵市企業立地促進条例による立地や設備投資に対する優遇措置策等を行います。		

<指標>

新規指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移					
				R1	R2	R3	R4	R5	R6
企業立地促進条例助成件数【累計】	企業立地促進条例助成金を交付した件数	企業立地促進条例助成金を交付した件数	目標	18	19	20	22	24	
			実績	16	18				
			達成率		100%				
ものづくり産業促進事業による年間設備投資件数	ものづくり産業促進事業に設備投資した件数	ものづくり産業促進事業に設備投資した件数	目標	5	10	10	10	10	
			実績	7	8				
			達成率		160%				
			目標						
			実績						
			達成率						
			目標						
			実績						
			達成率						
			目標						
			実績						
			達成率						
			目標						
			実績						
			達成率						

指標の分析

企業訪問を年間100回以上実施し、施策等の情報提供を行うことで、効果が上がってきています。企業立地促進条例に基づく助成を受けた企業は、令和2年度は5社でした。

<市民意識調査結果>

市民意識調査結果 (R2調査)	領域名	必要度	満足度
強化領域	2.60	1.82	
市民意識調査結果分析	中小企業生産性向上の支援策や企業誘致の必要性・内容等についての周知をしていく必要があります。		

<次年度以降の課題>

令和3年度以降の課題

新型コロナウイルス感染症により働き方が変化してきており、サテライトオフィスなど企業ニーズにそった環境整備が行えるように準備を進める必要があります。引き続き、企業立地促進助成金の内容等の周知を行っていく必要があります。また、野津東部工場用地造成に向けた整備を進めていくと同時に、企業立地推進ビジョンを作成し、ビジョンに基づいた企業誘致活動をしていく必要があります。

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費(単位:千円)			課長評価	公共5カ年	他の関連施策コード
				R1年度実績	R2年度実績	R3年度見込み			
1 企業立地促進助成金	産業の振興及び雇用機会の拡大を図るため、市内の事業者が行う設備投資等について助成を行います。	産業促進課	○	47,163	46,500	28,100	重点継続	○	
2 野津東部工場用地整備事業	企業誘致を図る為、野津東部工場適地の造成に向けた整備を進めていきます。	産業促進課	○	-	5,893	24,654	-	○	
3 白杵市ものづくり産業促進事業	製造業を営む中小企業の生産力向上や競争力強化のために行う設備投資に対し助成を行います。	産業促進課	○	7,150	10,177	8,000	継続	○	
4 白杵市小規模企業者新規展開事業	小売業や飲食・サービス業が行う、新規展開事業や機能向上につながる店舗の改修等に対して助成を行います。	産業促進課	○	5,196	1,652	8,000	継続	○	
5 創業支援事業	創業する方を対象に創業支援セミナーを開催し、創業時に必要な初期費用に対し助成を行います。	産業促進課	○	4,247	3,000	4,000	重点継続	○	
6									
7									
合計				63,756	67,222	72,754			

<施策の今後の展開 ~担当課長評価>

進捗状況	課長評価
概ね順調 野津東部工業用地に関して、水源調査及び地質調査等を行うとともに企業立地推進ビジョンを策定していきます。コロナ禍の中、可能な限り企業誘致活動に取り組んでいきます。	最重点施策であり、来年度強化する

<施策の今後の展開 ~内部評価(内部検討会)>

内部評価
最重点施策であり、来年度強化する 指標の一部は目標未達成であり、強化すべき施策であるが、企業誘致等、他に優先して取り組む施策があるため、現状維持としているものと評価。

<白杵市行財政活性化推進委員会による外部評価:最終>

評価のコメント	外部評価
指標としては順調に推移している。市の魅力を生かした起業を行う動きなど、市のPRと雇用と両立するような取り組みも出てきている。野津工業団地は、大規模であるため、誘致する企業は十分検討が必要。市内の製造業の2本柱は、造船業と醸造だが、造船業は今後事業縮小の懸念がある。	強化

<白杵市行財政活性化推進委員会を受けての市の取組>

造船業は、年間受注件数を確保できている現状と把握している。醸造業は、比較的コロナ禍でも踏ん張っているが、酒造に関しては、打撃を受けている。市全体としては、厳しい状況は続いている。ユネスコ食文化創造都市に関わるものを産業化できるよう検討したい。